

事業番号	05 02 10	事業改善シート (27年度実施事業分)			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	地域医療介護総合確保基金事業(医療分野)				担当課	部局	健康福祉部	
総合5か年計画	プロジェクト				課・室	医療推進課		
	施策の総合的展開	6-1	健康で長生きできる地域づくり		E-mail	iryo@pref.nagano.lg.jp		
		4	医療施策の充実		実施期間	H26 ~		

1 事業の概要

目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ○ どの医療圏においても県民が標準的な医療を等しく受けられる状況を創出 ○ 患者が早期に社会・在宅復帰し、地域で継続的に生活 ○ 機能別の病床構成の見直しにより、患者の状態に応じた適切な医療を提供 					
現状(予算編成時)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 三大疾病(がん、脳卒中、急性心筋梗塞)に対する標準的な急性期医療提供体制が、未だ脆弱な二次医療圏(上小、上伊那、木曾、大北及び北信)が存在 ○ 在宅療養者の割合が高い中で、必ずしも在宅医療提供体制が十分確保されていない状況 ○ 病床が高度急性期に偏り、回復・慢性期機能病床が不足 					
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 厚生労働省「平成27年度医療介護提供体制改革推進交付金交付要綱」				
成果目標・事業内容	① 成果目標(H27)					
	<p>地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律(平成元年法律第64号。以下「法」という。)第4条第1項の規定により県が作成した計画に基づき、病床の機能分化・連携、在宅医療の推進及び医療従事者の確保・養成のために必要な施設、サービス等の計画的な確保を図る。</p> <p>(H27目標) 事業進捗率 70.0%以上 : 過去の国庫補助事業等における実績を考慮</p>					
	② 事業内容 (単位:千円)					
	項目	実施方法	H27事業実績		H28	
			(当初)	(決算)	(当初)	
	医療提供体制改革推進のための事業	補助金 直接	法第4条第1項に基づく計画に掲載される病床機能分化・連携、在宅医療推進及び医療従事者確保・養成等の事業	1,220,780	523,072	878,998
	医療勤務環境改善支援センター運営事業	直接	経営管理等を含めた勤務環境改善に取り組む医療機関を総合的に支援する医療勤務環境改善支援センターを設置、運営	1,755	313	1,794
	在宅医療人材育成基盤整備事業	直接				3,623
	基金・運用益の積立	直接	国庫負担金:1,966,506 運用益:3,606 一般財源:983,254	3,157,634	2,953,366	949,566
			合計	4,380,169	3,476,751	1,833,981

事業コスト	区分(単位:千円)	25年度	26年度	27年度	28年度
	前年度繰越				
	当初予算			4,380,169	1,833,981
	補正予算		2,172,136		
	合計(A)	0	2,172,136	4,380,169	1,833,981
	Aの財源		510,000	1,052,282	316,272
	一般財源				
	県債				
	国庫支出金		1,020,000	2,104,562	632,544
	その他	0	642,136	1,223,325	885,165
決算額(B)		1,806,666	3,476,751		
概算人件費		1.00	1.00	1.00	
職員数(人)		0	8,258	8,276	
概算人件費(C)		0	8,258	8,276	
概算事業費(B(A)+C)	0	1,814,924	3,485,027	1,842,257	

成果目標の達成状況					
項目	H26末(実績)	H27			H28目標
		目標	成果	達成状況	
事業進捗率(全体執行額/全体計画額)	43.1%	70%以上	42.8%	未達成	70%以上

目標に対する成果の状況

当初予算額については、当該事業が平成26年度末に創設された事業であったため、計画作成に必要な時間を十分に確保できず、事業者の意向を大まかに集約した計画額に基づき編成した経緯がある。その後、関係者との折衝を通じて、より具体的な事業計画に組み直し、実質的な計画事業費は7.8億円となった。これに対して事業執行では、一部の事業において、内容の更なる見直しや事業の取り下げがあったが、最終的な執行額を5.2億円(実質事業進捗率66.6%)とし、成果目標(70%以上)に概ね近い事業進捗を図ることができた。

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	<p>国や県内の関係団体との連携を密にして、引き続き、脆弱二次医療圏・三次医療圏の医療提供体制強化、病床機能転換の促進、在宅医療提供体制・訪問看護体制強化等に取り組んでいく。</p>